

大庭小学校 ののはな学級学年経営案

●つきたい力の具体像と学年経営の取組

	自分で考え表現する力 ^知	自分も人も大切にする力 ^情	がんばりぬく力 ^意
学習	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のめあてに向かって取り組む ・自分に合った学習方法(支援ツール)で学習をすすめる ・できるようになったことを明確にしていく ・学習の振り返りを毎日(毎時間)行う ○学習の成果を発表する ・ノート、発表、テスト、新聞等、学習の成果を認め合う場面を設定する(掲示でも可) ○自主学習に取り組む(3年～) ・苦手なことに気付き、自主的に学習に取り組む(青空) ・宿題の中から自分に合ったものを選ぶ(たいよう) 	<ul style="list-style-type: none"> ○頑張っている姿を認め合う ・学習場面で、友達の良いところを伝え合う ・教員からの称賛を具体的なものに(本人に伝わる方法を考える) ○自尊心を育てる ・自尊心測定尺度を用いて、自分の良さに気付く ・できるようになったことを発表する場を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習態勢を整える ・授業が始まる前に学習の準備をする ・チャイムが鳴るときには着席する ・45分間学習に取り組む ・学習に必要なものを準備する ○家庭学習を定着する ・宿題をする時間を自分で考えて確保し、主体的に毎日行う
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○がんばったことや楽しかったことを言葉や身振りで表現する ・帰りの会で、がんばったことなどを発表する場を設ける ○ふるまい名人をめざす ・あいさつ、礼儀、言葉遣い等、具体的にほめていき、正しい行動を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ○異年齢集団での仲間作り ・生単や特活等を通して、友達の良さを見つける ○家庭での手伝いに積極的に取り組む ・家族からも必要とされる存在になる 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校のルールを守る ・正しい行動のときに認める ・間違っただけをしているときには、注意するだけでなく、どうしたら良いのか考えていくようにする ○友達と仲良くする ・仲良く遊んでいるときには、称賛し自信をつけていく ・教員に相談する ・個別に話す時間を設ける

●自己決定する個別最適な学び実現の取組 (GIGAスクール含む)

○指導の個別化

- ・課題が早く終わった子どもが、発展的な課題に取り組めるように教材を用意する
- ・学年に関係なく、個に応じた課題を設定する(たいよう学級)
- ・課題の量を調節したり、ノートに書く量を調節したりと個に応じた支援を行う(青空学級)

○学習の個性化

- ・個に応じたためあてや学習方法を決め、学習課題に取り組む
- ・子どもたちだけで授業を進め、学び合う学習（自学・自習等）
- ・タブレット端末の活用
- ・デジタル教科書の活用
- ・ワークシステムにおける自立課題

●学年担任制の取組

- 授業交換（ゆるやかな教科担任制）
- ローテーション道徳
- 学習進度や学習方法で集団を作る学習
- 学年全体での自由進度学習
- 朝の会・帰りの会・給食などのローテーション
- 算数 IT 及び習熟度別などの学習（にこにこサポートティーチャーとのTT）
- その他（ 知的学級での合同学習（日常生活の指導、生活単元学習、総合的な学習の時間等） ）

●総合的な学習の時間（3年生以上のみ）の取組

- 探究課題（地域とかかわり 150 周年にちなむもの一つ）
今年度は、特別支援学級（知的障がい）での総合的な学習の時間も設けたいよう学級（3～6年）
 - ・「大庭小学校を調べよう」の学習において、大庭小学校のことを調べる
調べたことを家族や交流校の児童に紹介する
 - 探究の中で児童に考えてほしい概念（知識）
 - ・大庭小学校が 150 年になることを知り、昔と今の大庭小学校の違いなどを知る
 - ・伝統のある大庭小学校の良さを再発見する
 - 学年の終わりに育ててほしい姿（地域や社会とのかかわりで）
 - ・大庭小学校のすばらしいところを見つけ、家族や竹矢小学校の友だち、居住地校交流の友だちへ発信する
- ※上記以外は、交流学年での探求課題に基づいて学習を行う